

商業振興委員会報告書

日時	令和5年2月15日(水) 17時00分	
場所	Otto Uno	
出席者	委員	本間 英夫 委員長・川端 克彦 副委員長・小林 義昭 委員 財前 真郷 委員・荒川 祥子 委員
	役員	白木 茂 会頭・名畑 正樹 副会頭・小松 孝好 監事 宮崎 俊朗 専務理事
	事務局	柳沢 利宏 事務局長・山本 真也 指導係長・片山 輝樹 会計係
内容	<p>1) 令和5年度の事業計画(案)について はじめに令和4年度の実施項目について別紙資料を基に事務局(山本)より下記の通り報告を行った。</p> <p>(1) 農商工連携による地域資源を活用した新商品開発の支援</p> <p>①酒粕パウダー「さけの粉」 ・現在さけの粉を使用している店舗が3店舗あり、商品化に向けて取り組んでいる。 →課題は販路開拓。</p> <p>②「さけの粉」を使用した商品開発 ・ニセコアルペンで開発したさけの粉ロールは2023年3月までの売上目標が250本のところ2/14現在で292本売り上げており、東急不動産内の賞も受章した。ニセコアルペンは3月末で閉館するためレシピの無償での提供を希望している。 →事務局で条件等を再度確認し町内の菓子製造業や飲食店などに声かけを行う。</p> <p>(2) プレミアム商品券事業及び大売出し事業等への消費拡大活性化の支援</p> <p>①プレミアム商品券は現在回収率が70.1%程となっており、主に燃料関連、リフト券等に使用されている</p> <p>②年末大売出しは参加店舗が49件であり、総売上が68万6000円であった。 ・当所として両事業に50万円ずつ支援している</p> <p>(3) 倶知安町特産品等の情報発信及び販路開拓支援</p> <p>①北海道まるごとフェアinサンシャインシティ 別紙資料に基づき事務局より説明</p> <p>②くっちゃん土産カタログ ・昨年度に引続き土産カタログを作成。30事業者が参加(内4事業者が新規)し、町内外に配布、HP掲載を行っている。 ・3月以降にアンケート調査により効果測定を行う。</p> <p>③北海道どさんこプラザ有楽町店テスト販売 ・お菓子のふじいの「塩バター大福」「ヌプリ」ニセコグリーンファームの「ドライマト」が2ndステージに進出し、北海道どさんこプラザ羽田空港店での販売が開始された。</p> <p>④北海道産品取引商談会 ・(株)デリシャスフロム北海道、Nao-bunsの2事業者が参加しそれぞれが商談と名刺交換を行った。 →今後、追跡調査にて効果測定を行う。</p> <p>以上の報告を行った後、令和5年度事業計画(案)について別紙資料を基に事務局(柳沢)より説明を行った。 →協議の結果、令和5年度の事業は上記の3項目を継続して行うこととした。</p> <p>2) その他 ・倶知安町のイメージキャラクター使用マニュアルについて役場作成の事前資料を配布。詳細については3月開催の当所常議員会にて説明会を開催することとなった。 ・倶知安町内における新幹線関連事業の進捗状況、倶知安余市道路の事業概要について別紙資料に基づき事務局(柳沢・宮崎)より説明を行った。</p> <p>以上17:55閉会</p>	

商業振興委員会報告書

日時	令和4年11月18日(金) 10時00分	
場所	中小企業センター ホール	
出席者	委員	本間 英夫 委員長・川端 克彦 副委員長・小林 義昭 委員 伊藤 直之 委員・山田 寿 委員・荒川 祥子 委員
	役員	名畑 正樹 副会頭・小松 孝好 監事 宮崎 俊朗 専務理事
	事務局	柳沢 利宏 事務局長・片山 輝樹 会計係
内容	<p>1) 委員会活動について 別紙資料に基づき事務局より説明。</p> <p>①土産カタログについて</p> <ul style="list-style-type: none">・いつ発行したのかを明記したほうがよい。・裏面の住所に虻田郡を追加した方がよい。・各ページに掲載事業所のホームページにアクセスができるQRコードを載せる。QRコードを読み取った数などを集計できる仕組みができると実施効果などがわかりやすく良い。 <p>②農商工連携による地域資源を活用した新商品開発の支援について</p> <ul style="list-style-type: none">・農業とも連携をとることによって倶知安町産の農産物について知ることができ、新商品開発の幅が広がるのではないか。・農協、教育委員会と連携を取り倶知安町の子供たちに植え付けから収穫までを体験させるのも良いのではないか。 <p>以上の意見が出された。</p> <p>2) 倶知安町幹部との意見交換会のテーマについて</p> <p>①じゃが太くんに関する商標登録について 現状じゃが太くんには一切使用制限等が無く、また非公認であるじゃが子ちゃんの存在もある。商標登録をする、許可制にするなどを取り決めることを提案する。</p> <p>②町有地の活用について</p> <ul style="list-style-type: none">・インフラ整備について（プール等の設置に関するもの）・ホテルニセコアルペンに売却する土地の転売特約の有無・高齢者の暮らしの充実・定住人口をどう増やしていくか <p>以上の2点を軸とし意見交換のテーマとすることとした。</p>	

商業振興委員会報告書

日時	令和4年11月1日(火) 10時00分	
場所	中小企業センター 2階会議室	
出席者	委員	本間 英夫 委員長・川端 克彦 委員・打越 雄介 委員
	役員	名畑 正樹 副会頭・宮崎 俊朗 専務理事
	事務局	柳沢 利宏 事務局長・山本 係長・片山 会計係
内容	<p>まずはじめに本間委員長より挨拶が行なわれた。 その後、事務局より北海道産品取引商談会の趣旨、支援目的、審査会の開催方法について説明を行なった。</p> <p>1)北海道産品取引商談会 支援事業者の審査・選考会 別紙「北海道産品取引商談会 審査・選考会名簿」の通り募集2事業者の中、応募2事業者となったため、支援事業者の審査を実施した。 ・選考委員 選考委員は商業振興委員・事務局の計6名で構成し、審査権は事務局1票で選考委員4票の得票数が過半数を超えれば、事業支援者するもの。 ・審査方法 事業者は出展計画書に基づいたPRを実施、その後質疑応答を行った。全事業者のPRを終了後に選考委員で審査を行なった。 審査会の結果は下記の通りとなった。 ○(株)デリシャスフロム北海道(満場一致) ○Nao-buns(満場一致)</p> <p>2)くっちゃん土産カタログ掲載事業者の審査 別紙「くっちゃん土産カタログ 応募事業者一覧」に基づき、今年度の応募者の説明を実施。全28事業者が承認された。</p>	

商業振興委員会報告書

日 時	令和4年10月18日(金) 14時00分		
場 所	中小企業センター ホール		
出席者	委 員	本間 英夫 委員長・川端 克彦 委員 打越 雄介 委員・宮武 利裕 委員	
	役 員	阿部 和則 会頭・名畑 正樹 副会頭・小松 孝好 監事 宮崎 俊朗 専務理事	
	オブザーバー	水口 渉	
	事務局	柳沢 利宏 事務局長・山本 真也 係長・片山 輝樹 会計係	
内 容	<p>1) 委員会事業の進捗状況について 本年度事業計画実施項目である、商業振興対策の推進に基づき下記の通り進捗状況の報告が行われた。</p> <p>①農商工連携による地域資源を活用した新商品開発の支援 別紙に基づき事務局より説明。 ・オブザーバーである水口渉氏より進捗状況の説明がなされ、現段階でのさけの粉の活用法として、ココアや飲むチョコレートに混ぜる方法や、化粧品に使用するなどの方法が上がった。 ・さけの粉のユーザーを増やすことが大切であるため、今後委員会にて協議していくこととなった。</p> <p>②プレミアム商品券事業及び大売り出し事業等への消費拡大活性化の支援 別紙に基づき事務局より説明。 7月に発行したプレミアム商品券は、使用期限が11月30日の為、結果が出た後に委員会にて報告することとなった。</p> <p>③倶知安町特産品等の情報発信及び販路開拓支援(伴走型小規模事業者支援推進事業) 別紙に基づき事務局より説明。</p> <p>○北海道まるごとフェアinサンシャインシティ ・10/5～10/11に行われた催事について報告。今後の販路拡大について検討していくこととなった。</p> <p>○北海道どさんこプラザ有楽町店テスト販売支援 ・昨年度参加した2事業者のテスト販売を10/1より開始したことの報告。 現段階では数品が売れている状況を報告。</p> <p>○くっちゃん土産カタログ ・昨年度実施した土産カタログ掲載事業者にふるさと納税への出品を促し現在5件ほど推薦していることを報告。 ・今年度新たに作成するカタログについては、昨年度の反省点を踏まえカタログの効果が可視化できるような仕組みを考えていくこととなった。</p> <p>○北海道産品取引商談会 ・委員会としては、定員を超えずとも審査、選考会を開催し事業者を決定するものとなった。</p>		

商業振興委員会報告書

日 時	令和4年7月1日(金) 16時00分	
場 所	中小企業センター ホール	
出席者	委 員	本間 英夫 委員長・千葉 善吉 副委員長 小林 義昭 委員・宮武 利裕 委員
	役 員	阿部 和則 会頭・名畑 正樹 副会頭・小松 孝好 監事 宮崎 俊朗 専務理事
	事務局	柳沢 利宏 事務局長・竹内 総務課長・山本 係長・片山 会計係
内 容	<p>まずはじめに本間委員長より挨拶が行なわれた。 その後、事務局より北海道まるごとフェアの趣旨、支援目的、事業者の紹介、選考会の開催方法について説明を行なった。 宮武委員より今回選考された2事業者には北海道まるごとフェア終了後に商業振興委員会及び選考されなかった事業者に対して実施した感想や状況等の発表をしてもらうことを条件にしてほしいとの意見があり委員会で承諾された。</p> <p>1)北海道まるごとフェア選考会 別紙「出店応募者名簿」の通り選考会を実施した。 1事業者10分程度の自己PRを実施。商業振興委員・三役・監事・事務局の計8名の選考員が評価シートに基づき審査を実施し、合計点上位2事業者を事業支援者とする。</p> <p>選考会参加事業者は下記の通り（申込番号順）</p> <ul style="list-style-type: none"> ①cafe909(飲食) ②Nao-buns(物販) ③Mikke(物販) ④二代目居酒屋SAMURAI(飲食) ⑤合同会社アンタレス(飲食) ⑥だるまや(物販) ⑦(株)デリシャスフロム北海道(物販) ⑧Hokkaido700(株)(物販) <p>北海道まるごとフェアでは上位2事業者である(株)デリシャスフロム北海道、Hokkaido700(株)を事業支援するとともに出店応募することとした。 3位のcafe909は次点者とし、(株)デリシャスフロム北海道、Hokkaido700(株)が辞退した場合に事業支援することとした。</p>	

商業振興委員会報告書

日 時	令和4年6月7日(火) 16時00分	
場 所	中小企業センター ホール	
出席者	委 員	本間 英夫 委員長・千葉 善吉 副委員長 川端 克彦 委員・財前 真郷 委員・宮武 利裕 委員
	役 員	阿部 和則 会頭・名畑 正樹 副会頭・小松 孝好 監事 宮崎 俊朗 専務理事
	事務局	柳沢 利宏 事務局長・山本 係長・片山 会計係
内 容	<p>1) 令和4年度の伴走型小規模事業者支援推進事業について まず、事務局より令和3年度に実施した下記3つの事業について別紙資料に基づき事務局より報告。</p> <p>①にぎわい市場さっぽろ2021 ②くっちゃん土産カタログ ③北海道どさんこプラザ有楽町店MS催事</p> <p>続いて、令和4年度に実施予定である事業について別紙資料に基づき説明。 商業振興委員会の関連事業は下記の通り</p> <p>②くっちゃん食の祭り →くっちゃんじゃが祭りの会場内の一角を間借りし即売会を開催予定。 じゃが祭りの開催方法によっては「ニセコオータムフェスティバル」にシフトする。 ④北海道まるごとフェアinサンシャインシティ ⑤北海道どさんこプラザテスト販売 →昨年参加した2事業者が対象 ⑦にぎわい市場さっぽろ2022 ⑧くっちゃん土産カタログ →英語版も作成。掲載項目を追加する。商品の値段が変動する可能性があることを記載する。昨年の増刷ではなく新たに作成することとなった。 ⑨北海道産品取引商談会</p> <p>以上の6事業を販路開拓支援として実施していく。 公募事業者数を超えた場合は委員会で選考し決定することとした。 また、委員会にて事業の報告をするのではなくこまめに委員会を開催し協議しながら進めていくこととした。</p> <p>2) 農商工連携による地域資源を活用した新商品開発の支援について 別紙資料に基づき事務局より説明。 酒の粉について ・お菓子に使用することが多いが、それでは使用割合が少ない。他に活用できる方法を考え、ユーザーを増やすことが必要。 ・開発したはいいが、普及しなければ意味がない。 上記意見を踏まえ今後検討していくこととした。</p> <p>3) その他 ・商業振興委員会の出席者が固定化されていることから、委員会の都度議事録や資料等を欠席委員に配布し、会議の進捗状況を共有していくことが出席率アップにつながるのではないかと。 ・時間帯を夜に変更し飲食を伴う会議にするのも良いのではないかと。</p>	